

平成27年度  
事業計画書

## - 目 次 -

<b>【1】</b>	<b>新市場販路開拓事業</b>	
	(1) 受注促進・販路開拓支援事業	1
	(2) 海外販路開拓支援事業	2
<b>【2】</b>	<b>企業開発力強化事業</b>	
	(1) 産学連携共同研究開発事業	3
	(2) 技術開発総合支援事業	3-4
	(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業	4
<b>【3】</b>	<b>燕三条ブランド推進事業</b>	
	(1) 燕三条ブランド発信事業	5
	(2) 燕三条ブランド強化事業	6
<b>【4】</b>	<b>企業人材育成事業</b>	
	(1) 燕三条ものづくり大学事業（技術研修講座）	7
	(2) 経営力強化支援事業	8
<b>【5】</b>	<b>需要開拓事業</b>	9
	(1) 展示・即売事業	
	(2) 燕三条駅観光物産センター事業	
<b>【6】</b>	<b>収益事業</b>	10
	(1) 他地域連携販売事業	
	(2) 貸館事業	
	(3) レストラン運営事業	

## 【1】新市場販路開拓事業

○事業費:56,905千円

○財 源:事業収入 4,320千円 市負担金 52,585千円

### 【事業の重点】

- ◆ 地域外企業訪問へ直接訪問し、燕三条地域企業の持つ技術等をPRし、ビジネスパートナーとしての受注拡大を図る。
- ◆ 機械要素技術展及び関西機械要素技術展に、多くの地域企業と共同出展し、受注拡大と技術のPRを行う。
- ◆ 燕三条地域企業の海外販路拡大のため東南アジアの企業などとのビジネスマッチングを推進する。
- ◆ シンガポール共同事務所駐在員や現地活動員を活用し、シンガポール及びその周辺国でのビジネスチャンス拡大を図る。
- ◆ 東南アジア及び欧州の展示会へ出展し、燕三条地域企業の海外販路開拓を支援する。

### (1) 受注促進・販路開拓支援事業

(事業費:31,905千円 財源:事業収入3,600千円 市負担金28,305千円)

#### ① 地域外企業訪問による受注促進

当地域企業への新規受注促進のため、他地域の発注案件を有する企業や成長ビジネス関連分野などの有力企業を訪問し、燕三条地域の加工技術をPRして地域企業の受注獲得を推進する。

また、事業拡大や新規事業を行う有力企業の情報を展示会出展や県外企業訪問などを通じて収集し販路開拓へ結びつける。

目標値:引き合い件数700件、成約件数60件

#### ② 地域内企業への情報提供による事業活動の活性化支援

登録企業約600社に技術情報・引き合い・情報セミナー案内、産業振興部の活動報告などの情報を掲載したリサーチコア通信を提供し、地域企業の事業活動を支援する。

#### ③ 燕三条地域企業が保有する技術情報などを地域外企業へ配信

展示会出展時に名刺交換した企業及び直接訪問した地域外企業(約1,200件)へ、燕三条地域企業の保有する加工技術や新商品、展示会出展情報などを、電子メールなどを使って情報発信する。

#### ④ 地域外企業工場訪問による受注促進(新規)

燕三条地域企業で製造や加工が可能な案件を持つ大手・中堅メーカーを地域企業とともに訪問し、受注促進を図る。

#### ⑤「燕三条 工場の祭典」の開催

燕三条地域産業のイメージアップと製品PRを図るため、燕三条地域企業や三条市及び燕市と連携して一般来場者へ工場を開放する「燕三条工場の祭典」を開催する。

#### ⑥ 地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

機械要素技術展及び関西機械要素技術展に地域企業と共同出展することで、地域産業の積極的なPRを行い、地域企業の直接的な販路拡大を支援する。

#### 【出展展示会】(予定)

展示会名	時期	期間	小間数	共同出展	目標件数	
					引合件数	成約件数
機械要素技術展	6月	3日間	7小間	23社	140件	10件
関西機械要素技術展	10月	3日間	3小間	7社	80件	6件

## (2) 海外販路開拓支援事業

(事業費:25,000千円 財源:事業収入720千円 市補助金24,280千円)

### ① 海外展開推進会議の開催(年3回程度)

「ものづくりのまち」としての「燕三条」を世界に向けて情報発信するとともに、海外見本市やビジネスマッチングなどに業界、関係団体と連携してより一層の相乗効果を発揮しながら、海外市場における販路拡大、人脈・拠点づくりをより効果的に展開していくための施策を検討する。

### ② 海外販路開拓に関する専門セミナー等の開催(年3回程度)

- ・ 東南アジアでの売れ筋商品(トレンド調査)などのセミナー
- ・ 貿易実務セミナー(初級、中級)(JETROとの共催予定)

### ③ シンガポール共同事務所の活用

シンガポール共同事務所を拠点として、東南アジア諸国に対し情報収集や発信を行い、燕三条地域商品の販路拡大、市場開拓などの支援を行う。また、共同事務所駐在員と情報を共有しながら業務委託契約したシンガポール在住のコーディネーターによる燕三条地域に特化した営業活動を行う。

- ・ シンガポールを市場とする販路開拓
- ・ シンガポールを中心とした周辺国での販路開拓
- ・ シンガポールからの観光客の誘致(インバウンド)

### ④ 展示会への出展

海外で開催される展示会へ出展し、燕三条製品の販路開拓を行う。また、海外展示会へ出展し、初めて海外の企業と取引を開始する企業に対しては、貿易アドバイザーによる支援を行う。

- ・ METALEX2015(タイ・バンコク)(H27/11月)  
ASEAN最大級の金属加工・工作機械、金属加工技術関連の見本市
- ・ メゾン・エ・オブジェ(パリ)(H28/1月)  
世界最高峰のインテリア&デザイン関連見本市
- ・ メゾン・エ・オブジェ(シンガポール)(H28/3月)  
世界最高峰のインテリア&デザイン関連見本市(アジアで3回目)

### ⑤ 海外調査ミッション(H27/11月予定)

今後、当地域製品の販路拡大が期待できる対象国を海外展開推進会議で検討し、その国との人的交流及び市場調査を行うため、現地展示会や政府・公的支援機関、企業等を訪問し、燕三条地域との交流連携について意見交換を行う。

## 【2】企業開発力強化事業

○事業費:50,688千円

○財 源:事業収入7,616千円 その他補助金20,600千円 市負担金22,472千円

### 【事業の重点】

- ◆ 大学や研究機関等が有する高度な専門知識と経験を活用し、当地域の基盤技術の高度化を図るとともに、当地域で対応可能な新産業分野への参入を支援する。
- ◆ 日本海側最大級のBtoBの展示商談会「燕三条ものづくりメッセ」を、昨年度に引き続き開催し、出展者と来場者等との新たなビジネスマッチングを進める。

#### (1) 産学連携共同研究開発事業

(事業費:5,816千円 財源:事業収入2,406千円 その他補助金600千円 市負担金2,810千円)

当地域企業が有する基盤技術の高度化を図ることにより企業の開発力を高め、当地域で対応可能な将来性のある成長産業分野への参入を促進するための研究会を開催する。

##### ① 3Dプリンター活用技術研究会

当地域企業での3Dプリンターの活用を促進するため、機器最新情報の提供や試作品の製作などにより、自社に合った機器の構成、適応範囲、課題などを検証する。

##### ② カuttingエッジ評価技術研究会

当地域で製造する刃物や工具などの高機能化や差別化を図るため、各企業の現場で利用可能なCuttingエッジ(刃先)簡易測定装置を試作し、刃先形状の評価と図示化を行う。

##### ③ 先進バリ取り技術研究会

金属製品製造企業で課題となっているバリ取りについて、当地域で対応可能な先進技術の紹介や先進企業見学会などを通じて、バリ取り技術を研究する。

##### ④ 航空機産業参入研究会

航空機の整備や運行部門への参入を図るため、当地域の金属加工技術によるレジャー用小型航空機(LSA)の飛行試験や評価試験などを行う。

##### ⑤ 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト

プロジェクト参加企業が持つ技術情報や開発事例などをお互いに共有し、試作品や小ロット品などの製造や加工依頼への対応力強化を図り、新規受注や受注拡大につなげる。

##### ⑥ 長岡技術科学大学との連携協議会の開催

大学教員と地域企業の経営者、後継者、生産部門の責任者などとの意見交換会や見学会を通して連携を深め、お互いの強みを生かした産学共同研究開発や、技術者教育での新しい連携を創出する。

#### (2) 技術開発総合支援事業

(事業費:5,322千円 財源:事業収入1,610千円 市負担金3,712千円)

OB人材や専門家を積極的に活用し、当地域企業の商品開発力の向上や産業財産権への理解と取得支援を行う。また、地域企業が持つ技術的な課題等を解決するため専門家を派遣し、支援する。

##### ① 知的所有権相談

弁理士など専門家による特許相談会を月1回開催し、地域企業の特許、意匠、商標に関する相談や手続きなどの指導や助言を行う。

##### ② 技術専門家派遣

地域企業からの技術的相談に対応するため、大手企業、大学、研究機関等の高度な専門知識を有する技術者や研究者を企業へ直接派遣し指導や助言を行う。

③ 職員による技術相談

地域企業からの技術的相談に対応するため、技術的知見を有する職員が企業に出向き指導や助言を行う。また、過去の支援事例を分かりやすくまとめた支援事例集を公開し、相談件数の増加を図る。

④ 機器利用促進

テクノセンター内の現有設備の利用促進を図るため、機械設備デモツアーを定期的を実施する。また、機械装置等導入検討委員会(仮称)を立ち上げ、新規設備の導入について検討を進める。

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業

(事業費:39,550千円 財源:事業収入3,600千円 その他補助金20,000千円

市負担金15,950千円)

日本海側最大級の200社程度の出展を目標に、燕三条地域のものづくり企業をはじめとして、全国各地域の企業が開発した新製品、新技術、サービス等を展示紹介することにより、販路開拓、市場創出、業務提携と行った企業間の取引を実現するビジネスマッチングのための展示商談会を、昨年度に引き続き開催する。

① 名称: 燕三条ものづくりメッセ2015

② 会期: 平成27年10月29日(木)～30日(金)

③ 会場: 燕三条地場産センター メッセピア多目的大ホール、特設テント他

④ 出展団体

- ・ 燕三条地域企業(機械加工、プレス、板金、金型、表面処理及び工業製品)(120社)
- ・ 国内外の表面処理、プレス加工、溶接、機械加工等、各種加工技術及び装置企業(60社)
- ・ 国内外の大学、業界団体、ソリューションなど(20社)

⑤ 出展規模: 200社程度(地域内企業 120、地域外企業、学術機関80)

⑥ 来場者数: 目標6,500名(平成26年度実績5,354名)

⑦ 展示会概要

- ・ 展示会での商談、ビジネスマッチング
- ・ 大手メーカーなどで活躍する著名人による特別講演
- ・ ものづくり集積地の若手経営者などによるパネルディスカッション
- ・ 来場者、出展者による出展者の注目技術コンテスト
- ・ 出展者および来場者向けの地域内工場見学ツアー
- ・ 複数の県内外大学などによるテーマを絞ったシーズプレゼンテーション

### 【3】燕三条ブランド推進事業

○事業費:51,985千円

○財 源:事業収入684千円 県補助金収入3,000千円 市負担金48,301千円

#### 【事業の重点】

- ◆ (公社)日本観光振興協会と連携し、産業観光に係る人材の育成、ビジネスモデル化等の課題検討等、産業観光の活性化による地域振興を図ることを目的とする「全国産業観光フォーラム」を開催する。
- ◆ イタリア・ミラノにおいて、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに、約140カ国が参加して開催される「ミラノ国際博覧会」に出展し、燕三条地域の食及び食にまつわる製品をPRする。
- ◆ アジアを中心とした海外からの旅行客拡大に向けたインバウンド事業を実施する。
- ◆ ドイツを中心とした欧州マーケットにおいて、ブランド力向上による販路拡大を図るためドイツに向けた商品開発ワークショップの開催、ブランド力向上に寄与する著名な国際デザイン賞取得支援、海外展示会(アンビエンテ)の出展と一貫した支援を行う。

#### (1)燕三条ブランド発信事業

(事業費:38,797千円 財源:事業収入114千円 県補助金収入3,000千円 市負担金35,683千円)

##### ①「全国産業観光フォーラムin燕三条」の開催

「燕三条 工場の祭典」の取組を中心にフォーラムを開催し、全国からの産業観光関係者などの誘客を図り、「ものづくりのまち燕三条」の認知度を高め、産業観光の推進を図る。

- ・会期:平成27年10月上旬(2日間)を予定
- ・内容:基調講演、分科会、エクスカージョン 他

##### ②「ミラノ国際博覧会」における日本館イベント広場への出展

ワークショップやプレゼン、試食などを通じて、燕三条の食材及びキッチンアイテム等をPRする。

- ・会期:2015年5月1日～10月31日 ※うち、9月24日～26日の3日間出展

##### ③ 広域連携を基軸としたインバウンド事業の実施

- ・ビジットジャパン事業の活用などにより海外からの旅行者の誘客を図る。
- ・国際博覧会や海外の展示会で活用するための外国人向けの地域PR映像を制作する。
- ・外国人旅行者向けに、英語、中国語版の観光パンフレットを作成する。

##### ④ 工場見学ツアー

- ・ものづくりメッセの来訪者に向けた工場見学ツアーの催行

##### ⑤ 燕三条Wingの活用

- ・燕三条ブランドのイメージアピールを基本コンセプトとした製品の展示販売
- ・通販サイトにおける燕三条製品の販売及び地域企業のPR
- ・定期的なイベント等の開催による施設の魅力向上と地域情報の発信

##### ⑥ 各種プライドプロジェクト事業の支援

- ・燕三条まちあるきの企画及び運営
- ・ブランキングアートプロジェクトの実施
- ・燕三条「畑の朝カフェ」ブックレットの制作
- ・プロダクト商品開発支援及び海外展示会アンビエンテ(フランクフルト)でのブランドPR
- ・グリーンツーリズム事業の支援(パンフレットの作成等)

## (2) 燕三条ブランド強化事業

(事業費:13,188千円 財源:事業収入570千円 市負担金12,618千円)

### ① 欧州マーケットに向けたブランド力強化

- ・ 欧州のライフスタイル・ニーズをに対応した商品開発を行うため、ドイツ在住のコーディネータによる開発ワークショップを開催する。
- ・ 全世界的に評価の高い国際デザイン賞(IFデザイン賞、Red dotデザイン賞など)の取得に向けた支援を行う。

### ② 地域資源を活用した商品開発の実施

- ・ 地域に精通したコーディネータ、現場の知恵を持つ使い手、伝達能力に優れたデザイナーによるプロジェクトを結成し、開発コンセプトを作成する。
- ・ 参加企業を公募し、プロジェクトのアドバイスを受けながら商品開発を行う。
- ・ 地場産センター「メッセピア」、燕三条「畑の朝カフェ」、燕三条イタリアン「Bit」などを活用したモニタリング、商品PRを行う。
- ・ 二年目となる27年度は参加企業、アイテムの拡充を図る。

### ③ 国内デザイン賞取得支援

- ・ 受賞数、取組企業の更なる増加のため、応募説明会、申込みに対するアドバイス、受賞イベントを開催など取得に向けた一貫支援を行う。

### ④ 「グッドデザインエキスポ2015」出展

- ・ 当地域のデザイン性の高さをPRするため、「グッドデザインエキスポ2015」に地域企業と共同出展し、ブランド力の強化を図る(東京・11月)。

### ⑤ 商品企画・デザイン個別相談の実施

- ・ 地域企業からの商品企画・デザイン開発の相談に対し、センター職員が企業を訪問し、アドバイスをを行う。また、必要に応じ外部デザイナーとのマッチングを行う。

### ⑥ 燕三条ブランド推進会議等の開催

- ・ 支援機関・団体・業界の声を反映し、意思統一を図りながら事業を推進するための会議を開催する。

### ⑦ デザインギャラリーの運用

- ・ 燕三条の優れた製品等の展示により、燕三条ブランドの発信を行う。

### ⑧ 地域デザイン団体活動支援

- ・ 燕三条デザイン研究会・つばめデザイン研究会の活動に対するサポートを行う。



#### 【4】企業人材育成事業

○事業費:14,900千円

○財 源:事業収入 4,617千円 市負担金 10,283千円

##### 【事業の重点】

- ◆ 当地域企業の製造及び開発現場での技術力向上を目的に、設計・製図や金属材料などの技術基礎講座、各専門分野に特化した集中講座、技術マネジメント講座など、地域の各支援機関と連携しながら実践的技術者の育成を図る。
- ◆ 地域企業の販路開拓や、情報技術活用のための企業向け研修会を開催する。
- ◆ 地域企業が抱える経営課題、経営支援ニーズに対応するため、専門家や先輩経営者などによる高度なノウハウの提供や経営支援を行う。
- ◆ 広報誌・メールマガジン・ホームページ等による最新の企業向け支援情報の発信を行うとともに、センターの利用促進に努める。
- ◆ 地域企業の経営力強化やIT活用相談に対応するため、相談企業へ直接専門家を派遣し、課題解決に向けたアドバイスをを行う。

(1) 燕三条ものづくり大学事業(技術研修)(事業費:3,090千円 財源:事業収入3,090千円)

##### ① 技術基礎コース(3コース)

- ・ 金属材料基礎講座(2時間×12日間、20名)  
主に鉄鋼材料に関する基礎的知識を習得する講習会
- ・ 図面の見方・描き方入門講座(2時間×9日間、20名)  
JIS規格に基づいた製図法を習得する講習会
- ・ 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座(2時間×5日間、15名)  
各種技術や材料の基本となる力学、三角関数、化学反応式などの基本を身につける講習会

##### ② 専門分野集中研修コース(6コース)

- ・ 溶接技術集中講座(3時間×3日間、15名)  
溶接に必要な金属材料の基礎、各種溶接技術、材料の溶接特性などを習得する講習会
- ・ プレス加工集中講座(3時間×4日間、15名)  
プレス機械、絞り加工、せん断加工の基礎知識と応用技術を習得する講習会
- ・ 表面処理集中講座 (3時間×3日間、15名)  
表面や腐食に関する基礎知識と、めっきなどの表面処理に関する知識を習得する講習会
- ・ 熱処理集中講座(3時間×3日間、15名)  
刃物等の製品や金型等の工具の熱処理技術の基本を習得する講習会
- ・ 精密板金設計と加工の要点集中講座 (3時間×3日間、15名)  
板金加工の基礎知識と展開図の作成方法を習得する講習会
- ・ 知財活用技術講座(3時間×3日間、10名)  
特許、実用新案などの知的財産について理解し、自ら出願できる能力を習得する講習会

##### ③ 生産現場に対応する技術マネジメントコース(4コース)

- ・ 課題解決力強化講座(3時間×8日間、10名)  
価値分析や付加価値向上手法を習得し、課題解決能力を高めるための講習会
- ・ タグチメソッド活用講座(2時間×5日間、10名)  
開発期間短縮のためのツールである「品質工学」の活用スキルを習得する講習会
- ・ テクニカルプレゼンテーション力強化講座(2時間×5日間、10名)  
社内及び外部への技術文書の書き方及びプレゼンテーション方法を実践的に学ぶ講習会
- ・ 新技術・新材料活用セミナー(1時間×10回程度)  
地域企業のニーズに即した技術動向や注目材料などについての最新情報セミナー

## (2) 経営力強化支援事業

(事業費:11,810千円 財源 事業収入:1,527千円 市負担金収入10,283千円)

### ① 企業向け情報・経営研修会の開催(燕三条ものづくり大学)

業務に活用できる企業向け研修会を開催する。

- ・ エクセル活用講座 (2h×5回×2コース、20名)
- ・ Windowsネットワークの基礎講座(2h×3回、10名)
- ・ ネット販売のための商品撮影講座(2h×3回、10名)
- ・ 営業力強化セミナー(2h×3回、15名)

### ② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業からの生産管理、顧客満足(CS)、商品企画、IT活用などの企業経営に関する相談に対応するため、直接企業に専門家を派遣し指導や助言を行う。

### ③ 新事業創出プロジェクト

地域企業の新商品開発、既存商品の見直し、新事業立ち上げなどについて、専門家を活用しながら地域企業2社程度に対して積極的に支援を行う。

### ④ 広報活動の強化

- ・ 広報誌リサーチコアレポートを年3回程度発行し、リサーチコアの企業向け各種支援事業のPRを行うとともに、リサーチコアの利用促進を図る。
- ・ 燕三条地域の各支援機関が実施する各種研修事業を目的別に全コースを掲載したガイドブックを作成する。
- ・ 企業に役立つ情報をホームページに「ビジネス情報提供」として掲載し、月2回配信のメールマガジンにおいても同内容のものを掲載する。

(センター事業/展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況情報)

- ・ 理事長記者会見等によりセンター事業全般の広報を行う。

### ⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

- ・ センターホームページの更新および管理運営を行う。
- ・ センター及び燕三条Wingのフリースポットの管理・運営を行う。

### ⑥ 情報関連機器の維持管理他

各種サーバ他IT機器のメンテナンスとバックアップ

## 【5】需要開拓事業

○事業費:318,078千円

○財 源:事業収入358,086千円

### 【事業の重点】

- ◆ 県内外から来館されたお客様にも再度ご利用いただけるような魅力ある店舗を目指し、地場産業に関連する実演や参加体験型の工房等を開催する。
- ◆ 多様化する消費者購買動向や新商品の情報を収集、ものづくりのまち「燕三条」を代表する売り場づくりを行うと同時に、免税制度を活用した外国人旅行者の来館を促す。
- ◆ 大手旅行会社とタイアップした企画や商工団体等に対する観光視察の誘致により、燕三条産業観光を推進し、首都圏を含めた近隣地域への積極的な誘客宣伝を行うことで「燕三条」を効果的にPRする。
- ◆ 燕三条駅観光物産センター事業ではデザイン性の優れた商品などを展示販売することで、「燕三条」の認知度向上及びイメージアップを図る。
- ◆ 燕三条地場産センターに道の駅を設置運営することにより、更なる地域拠点や地域連携の核となる場を形成する。

### (1) 展示・即売事業（事業費:265,479千円 財源:事業収入303,398千円）

- ◆ 新商品・話題商品を広く県内外にPRするため各種イベントを開催する。
- ◆ 地場産業に関連する包丁研ぎ実演の他、鋤起銅器製作等の実演を増やすと同時に、参加体験型の工房を開催し、ものづくりのまち「燕三条」を表現する魅力ある店舗を目指す。
- ◆ 首都圏を含めた近隣地域を中心とした大手旅行会社とタイアップした企画や、商工団体等に対する観光視察の誘致により、燕三条産業観光を推進し地場産品のPRを行う。
- ◆ 外国人観光客にメリットのある免税店申請や、店舗サインの外国語表記等を進めることで、外国人旅行者が立寄りやすい環境作りに努める。
- ◆ 地域拠点機能の強化を目的に道の駅を設置すべく、登録申請に向け事業計画の策定を行うと同時に、屋外トイレ等を整備する。

### (2) 燕三条駅観光物産センター事業（事業費:52,599千円 財源:事業収入54,688千円）

- ◆ 新幹線利用者を中心にGマーク受賞商品等を展示即売する他、新商品や話題性のある商品を展開し、地場産品のPRを行う。
- ◆ 定期的にミニイベントを開催、地元客はもちろんのこと県外客に燕三条Wingの店舗PRと集客を図る。
- ◆ 26年12月に一部改装リニューアルをした新たなWingの店舗を雑誌等に広告掲載することで、県内外へPRする。
- ◆ エキナカ店舗の立地と利用者へのサービスとして、Suicaを導入し利便性の向上を図る。

## 【6】収益事業

○事業費:96,417千円

○財 源:事業収入145,640千円 市負担金3,000千円

### 【事業の重点】

- ◆ 燕三条製の良質な刃物やハウスウェアを安心かつ安価に提供して産地のイメージアップすることでリピーター(燕三条ファン)をつくりだし、その他の燕三条製品の販売拡大を行い地域経済の活性化を促進する。
- ◆ 営業活動、広告宣伝等、今まで以上に貸館のPRを行い、会場利用増加に努める。また、お客様の要望に臨機応変に対応し、顧客満足度を上げ、また使ってみたいと思われるようなサービスを心がける。
- ◆ 美味しい食事を提供する場を通して燕三条産の食材や燕三条製品の魅力を伝えることに努める。

### (1)他地域連携販売事業

(事業費千円:13,628千円 財源:事業収入15,280千円)

- ① 他地域の地場産センター及び県内外の食品加工製造業者の出展により、一般消費者がより気軽に来場していただける刃物に関するフェアを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品の販売拡大を行うと同時に、地場産業に関連するイベントを併設することでものづくりのまち燕三条を効果的にPRする。
- ② 地域外の新潟県の特産品を販売することにより、観光施設のイメージアップを図り顧客満足の向上を促す。

### (2) 貸館事業

(事業費20,789千円 財源:事業収入68,360千円 市負担金3,000千円)

- ① 多目的大ホールを中心とした営業活動、広告の掲載、各種展示会で貸館リーフレットを設置し施設利用の増加に努める。
- ② 受付から終了までお客様とのコミュニケーションを大切にするとともに、お客様の急な要望にも迅速に対応し、お客様に満足していただけるサービスを提供する。
- ③ 燕三条食の陣の共同開催

### (3) レストラン運営事業

(事業費62,000千円 財源:事業収入62,000千円)

- ① 燕三条の食材を使い、食事を通して燕三条を楽しんでいただく。
- ② 燕三条製の洋食器やタンブラーなど使った食事を提供し、燕三条製品の良さを感じていただく。
- ③ アフターヌーンカフェの提供やディナータイムの貸し切りパーティなど来店者へサービスを行う。
- ④ 施設利用者向けのサービスとして、利用会場での飲食の提供を行う。